|  |
| --- |
| （１）本セミナーを含む研究の全体的な目的・方法など、次の項目について具体的に1頁以内で記載してください。図表を含めても構いません。  ① 開催するセミナーに関係する研究目的や研究方法、何をどこまで明らかにしようとするのか。研究全体に関連づけた本セミナーの目的、位置づけ、意義   1. 相手国と研究交流を行う必要性と意義 |

*※留意事項：*

*1. 作成に当たっては、「申請書作成に関する注意事項」を必ず確認してください。*

*2.作成する前に、頁上部のヘッダー部分（「共同研究」又は「セミナー」）を確認し、適切な様式を用いているか必ず確認してください。*

*3. このファイルは、日本語又は英語で作成してください。*

*4. 使用する文字サイズ及びフォントに指定はありません。*

*5. 各頁の上部枠内のタイトルと指示書きは動かさないでください。*

*6. 指示書きで定められた頁数は超えないでください。なお、空白の頁が生じても*

*削除しないでください。*

*7.生成AIを利用することは、意図せず著作権の侵害、個人情報や機密情報の漏洩につながるリスクがありますので、このことに留意した上で申請者の責任において判断してください。*

*8.申請書の提出時には、このテキストボックスごと削除してください。*

|  |
| --- |
| （２）本セミナーの特色や準備状況など、次の項目について1頁以内で記載してください。  ① セミナーの特色、着眼点、独創的な点。特に過去に同様のセミナーを含め国際的な研究交流活動（振興会事業に限らない）があれば、それらの実績（見込みを含む）と本セミナーとの間の関連性や、新提案の意義  ② 最近行われた、又は行われる予定の同種の計画（関連する国際会議等）との関係  ③ これまでの相手国側研究者との交流状況及び交渉経過  ④ 日本側の若手研究者養成への貢献  ⑤ 本事業によるセミナーが終了したときに予想される社会的インパクト及び将来の見通し |

|  |
| --- |
| （３）本セミナーの日程及び討議される題目について1頁以内で記載してください。 |

|  |
| --- |
| （４）日本側のセミナー代表者及び参加者の主要研究業績  本セミナーの内容に限ることなく、最近5か年を中心に下記の項目について、日本側のセミナー代表者及び参加者が中心的な役割を果たしたもののみ、2頁以内で研究者ごとに記載してください。口頭・ポスター発表は含みません。  ① 学術雑誌等（紀要・論文集等も含む）に発表した論文又は著書  ※ 「査読の有無」を区分して記載してください。査読の有無に関わらず、印刷済又は採録決定済のものに限ります。査読中及び投稿中のものは除いてください。  ※ 著者名（全員の氏名を、論文と同一の順番に記してください。）、題名、掲載誌名、巻号、開始頁－最終頁、発行年（西暦）をこの順で記載してください。  ② 学術雑誌等又は商業誌における解説、総説  ③ 特許・受賞歴 |

|  |
| --- |
| （４）日本側のセミナー代表者及び参加者の主要研究業績（つづき） |

|  |
| --- |
| （５）相手国側セミナー代表者の経歴及び主要研究業績  相手国側セミナー代表者のみの経歴、主要研究業績を1頁以内で記載してください。②～④については、本セミナーの内容に限ることなく、最近5か年を中心に相手国側セミナー代表者が中心的な役割を果たしたもののみ記載してください。口頭・ポスター発表は含みません。  ① 相手国側セミナー代表者の経歴（最終学位取得大学、学位名、取得年及び主な経歴）  ② 学術雑誌等（紀要・論文集等も含む）に発表した論文又は著書  ※ 「査読の有無」を区分して記載してください。査読の有無に関わらず、印刷済又は採録決定済のものに限ります。査読中及び投稿中のものは除いてください。  ※ 著者名（全員の氏名を、論文と同一の順番に記してください。）、題名、掲載誌名、巻号、開始頁－最終頁、発行年（西暦）をこの順で記載してください。  ③ 学術雑誌等又は商業誌における解説、総説  ④ 特許・受賞歴 |